

## 派遣留学プログラム 月間報告書

(報告期間 4/1~4/30)

### 1. 勉学の状況

今月は冬学期の最終月のため、エッセイ課題の提出がいくつかありましたが、前もって進めていたおかげでそれほど忙しくなることはありませんでした。期末試験はしっかり全科目でありました。今月の2週目くらいには授業が終わり、テスト期間に入りました。テストのスケジュールが、テスト期間最初の週に連続で2科目、そこから1週間空いて最後の科目という日程だったため、1週目は勉強に追われました。文化人類学は Amazonian cannibalism についてのエスノグラフィーの本を丸ごと一冊、Recreation & Leisure theory は授業の全範囲だったため、内容が多すぎてどこから手をつけるべきかと困りました。教授が共有してくださった補助教材を使用したり、自分でもう一度内容をまとめ直したりしてテストに挑みました。最終科目は社会心理学でした。一週間勉強する時間があると思っていましたが、テストが終わった次の日には寮を出ないといけないということで、荷造りに追われ、気疲れしました。2時間程かけてテストが終わった後は、すっきりした気持ちになりましたが、まだこの大学を明日出て行くという実感はありませんでした。無事に全ての授業を終わることができて良かったです。

### 2. 生活の状況

今月の終わりにはレジャイナを出て行くということで、“最後”となる出来事が多く、そのたびに悲しい気持ちになりました。授業を受けるのも最後、アルティメットの練習に行くのも最後、友達に会うのも最後、8ヶ月お世話になった部屋で生活するのも最後というようにとても感傷的な気分になりました。レジャイナも天気が良くなってきたので、交換留学生の友達とピクニックをしたり、湖でハイキングをしたりしました。私は初めて湖に行ったのですが、とても緑豊かで、きれいで、気に入りました。秋の紅葉の時期にも行っておくべきだったと後悔しました。他には、帰国する前にと、友達と好きだったレストランやカフェに行きました。アルティメットでは、特に仲が良かったチームメイトとランチに行きました。お店に入るとサプライズでその友達以外のチームメイトが居て、お別れ会をしてくれました。スポーツを通じて素敵な友達に出会えて、幸せだなと感じました。テストと荷造り、友達へのお別れと忙しくしていたらあっという間に最終日になりました。テストが終わった次の日に寮を出ないといけないということで、私は翌日の朝のフライトをとっていました。そのため、テストが終わってから休む間もなく荷造りに追われました。時間がなくて本当に焦りました。荷造りを続けていると、友達にご飯を作って持ってきてくれました。とても嬉しくて、有り難かったです。結局その日は夜通しで時間ぎりぎりまでパッキングをしていました。大学で友達が見送りに来てくれましたが、焦りすぎて悲しむ暇もありませんでした。空港について、受託荷物を預けて用意が全て完了し、お見送りに来てくれた友達にあったら、突然感情が押

し寄せてきて、涙が止まりませんでした。せっかくレジャイナの生活に馴染んできた時に帰るのは、すごく惜しい気がしました。短期の語学留学を含めて9ヶ月レジャイナにいましたが、今となってはすごく後という間だった気がしています。このような留学の機会を与えて頂いて、感謝の気持ちで一杯です。大変な事もありましたが、日本にいたら出会わなかったはずの多くの人に出会えて、さらにカナダという国が一層好きになりました。勉強以外でも実り多い留学生活にできたのではないかと思います。

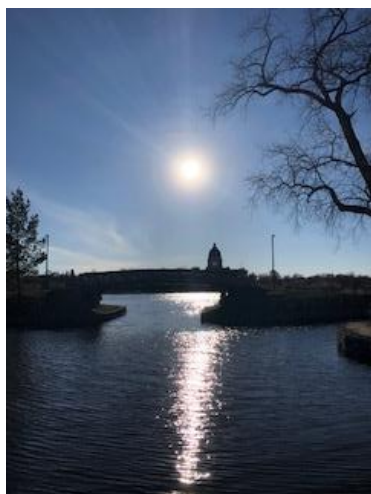
大学内の芝生でピクニック



最後のアルティメットの練習にて



ワスカナ湖（一応徒歩圏内）



サプライズブランチ



丘からの夕日

